



鳥獣による農作物の 被害集計システムの開発！



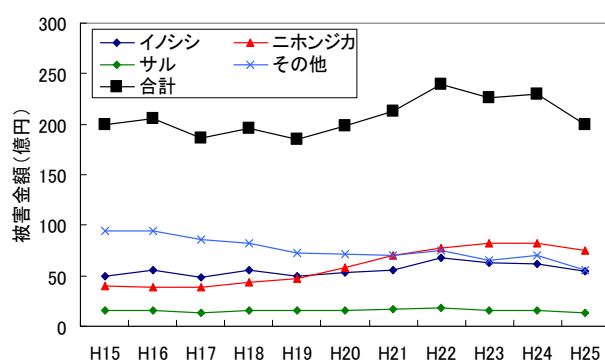
ミカン園のハクビシン



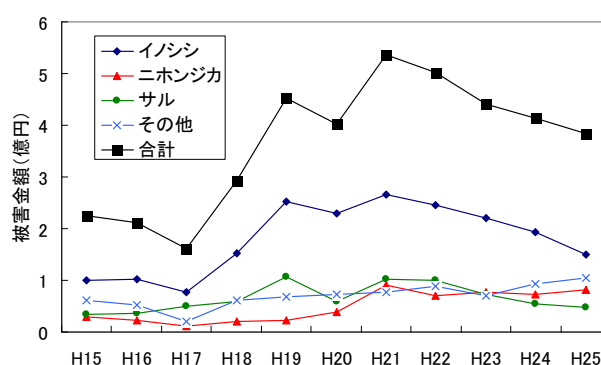
タケノコを掘るイノシシ



イノシシに掘られた茶園法面



全国の被害金額の推移



静岡県の被害金額の推移

(出典：農林水産省・静岡県農山村共生課を一部改変)

被害金額の集計は市町村が実施



集計に用いるシステムを開発

システム開発の必要性

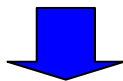
野生鳥獣による対策を実施するためには、広域的な被害を正確に把握することが重要です。そのため、集計に用いるシステムを開発しました。

裏面には、詳しい試験
研究結果があります。



現在の集計方法の問題点

- ・農林水産省が定める集計方法が複雑で作業が大変
- ・被害が発生している場所がわからない



集計が簡単にでき、同時にマップ化ができるシステムを
Microsoft Office Excel を利用して開発

①被害入力フォーム

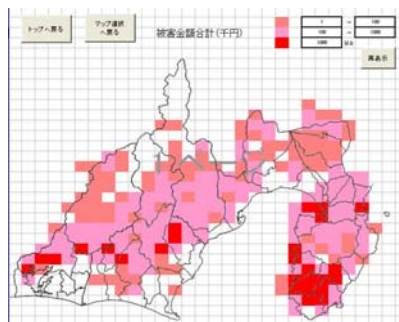


②被害報告提出シート



システムの使い方

- ① 被害入力フォームに農業者からの被害報告を入力
- ② 集計ボタンを押すと農林水産省に提出する様式を作成
- ③ 被害金額の大小を色分けした被害マップを作成



③被害マップ

システムのメリット

- ・簡単に国に報告する資料を作成できる
- ・約5×5km 単位で被害程度をマップ化できる
- ・市町の調査項目に応じてカスタマイズできる

発行日：平成27年3月1日

編集：静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター

発行：静岡県森林・林業研究センター振興協議会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6（静岡県森林組合連合会内）

発行元は解散しました

TEL (054) 253-0195

FAX (054) 253-2328

